No.２９４５

涼を求めて！滝三昧の渓谷

西　沢　渓　谷

実施日　２０１９年８月１０日(土)
天　候　晴れ／曇り／雨
リーダー　渋谷　京子
参加者　若村貴世子、若村勝昭、涌井良明、小村井好江、渋谷京子、中村友子、阿部みゆき、(G浦野光昭)　計8名
費　用　ＪＲ2,288円（高尾起算）🚌1,860円　計4,148円
タイム　塩山駅(8:30~9:40🚌)西沢渓谷入口(9:50)トイレ(10:10)三重の滝(10:45)河原で昼食(11:15~45)七ツ釜五段の滝(12:15)迂回路(12:35~45)大久保沢(13:25)ネトリ橋(13:55)西沢渓谷入口(14:15)塩山駅(14:40~15:50)

全国的に危機を感じる程の高温が続いている。果たして西沢渓谷は涼しいのだろうか？
そんな不安を払拭しつつ8名のメンバーは塩山駅に降り立った。バスは臨時便も出て1時間余り揺られウトウトしていると到着した。暑い～！
青空のもと強烈な陽射しの中、歩き出す。暫く進むと樹木が太陽を遮り谷

から涼しい。風笛蝉が吹の
吹きの渡る音、導かと上れ徐げ
川大合谷唱入口高度へを
渓々に行く。
て二重吊り橋を渡
り飛沫に濡れ頼たり
岩場を歩く。しっかりとした鎖を三重滝のに進むとエメラルドグリーンの滝に恋滝が現われる。滝見台から三段の滝、暫し見とれた。フグ岩、竜神の滝、糸滝、貞泉の滝と岩場の道は続く。道は狭く人も多くて休憩所も確保でき昼ないが、漸く河原が現れ少し早めの

食を摂った。少なら時しり射適ごに遮とが出りれ快過したちもひ事て七ハツ目れを来たライトの滝を高度イ釜五段しの更に行く。指を上げて行く。

る大！数あ？の手横
ぎ際滝、？段先。り
過との様と４だるま
をひ段王る、まあか
橋も五がみ3段はでつ
丈音いすて～容うに
方ときさえら全よ摺
から見るようになると5段の滝がしっ
かり見えた。木々の合間からやはりエ

メラルドグリーン
と白のコントラス
トが見え息を呑む
美しさである。そ
して左に巻く。よう
に進むとで段の道
がこれも木か！と大
続く。息は荒く最後
汗が吹きり出すころだ。登り着いたところ
のが頑張林どこここから大歩道のり下り
に旧森軌道、もあり休憩をと雲行き
山になるトイレ過ぎになるとて混た。じ
がにかかる。お昼模様にっ砂き下に
ゴ怪しくなり雨鳴ている。砂が混じ
ゴロゴロと雷が鳴っている。砂が混じる歩き易い道をぐんぐん下ると左下に
5段の滝が良く見えた。大久保沢を過
ぎた頃だろうか小雨が大雨にそして土
砂降りになった。もう傘では追いつか
ず全身びしょ濡れ、雨具を取り出す事
も出来ず只ひたすら速足で川となった
道を下った。最近、午後から山沿いで
は雷雨あり・・と報道されていたが見
事に当たってしまった。豪雨と強風は、
ほぼ同時にやってくる。低体温症の危
機もある事を改めて思い起こした。ネ
トリ橋を過ぎ、東屋で一息ついてバス
停へと急ぐ。この頃には小雨模様にな
った川は濁流と変なり朝の綺麗なり水は
茶色く様相を変えていた。やはり山に
入る時は危険と隣り合わせ、対処出来
る装備と着けるタイミングが重要、覚
悟が必要と実感した。
バスの出発時間まで余裕を持って着替えを行い、車中人になった。
塩山での恒例の反省会！ＧのＵさんも交えて盛り上がったのは云うまでもありません。
本日は滝三昧の涼しい渓谷歩き、堪能して頂けますでしょうか。後半のハプニングもありましたが一つの経験として今後に活かしていけたらと思います。
参加された皆さん、有難うございました。お疲れさまでした。又、ご一緒しましょう！

（記・渋谷　京子）
（写真提供・涌井　良明）